



たかの橋通信

医療法人社団 仁鷹会 たかの橋中央病院

広報委員会

第4巻 第2号

2009年 8月 29日 発行

理念

- ・ 良質で心温まる医療
- ・ 奉仕の精神
- ・ 研鑽と謙虚

基本方針

- ・ 患者さまの権利を守ることを第一とする
- ・ 患者さまとのコミュニケーションを大切にする
- ・ 常に医療倫理の元に行動する
- ・ 医療安全管理の基本を怠らない
- ・ 良い接遇は良い医療を生み出すことを銘記する

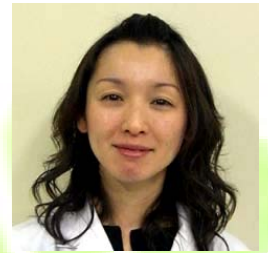


当院は、病院機能評価認定病院です

禁煙外来のご紹介

「禁煙をしたほうがいいのはわかっているけど、やめられない。」
そう思われている方は多いと思います。

2006年より一定の条件を満たせば、禁煙治療を保険診療で受けられるようになりました。現在、日本人の死亡原因のうち全体の6割が生活習慣病に関連し、医療費の多くを費やしています。2008年の医療費が34.1兆円と過去最高を記録し、今後も医療費は増え続けることが予測され、2025年には141兆円(！)にのぼると推測されており、このままでは、国民の負担は大きくなっていく一方です。医療費削減のため、最近では病気の予防が重要視されるようになりました。喫煙は全身の様々な疾患を引き起こす生活習慣であるため、近年、禁煙への様々な取り組みが始まっています。禁煙治療が保険診療になったのもその一環です。



内科医 三戸 晶子

それではなぜ、多くの方が禁煙に失敗するのでしょうか？その原因としてニコチン依存症があげられます。喫煙して体内にニコチンが取り込まれると、快楽物質といわれるドーパミンが放出されます。このドーパミンへの欲求がニコチン依存となり、これに打ち勝つためには自分の意思だけではなかなか難しいのです。

ニコチン依存を緩和する薬として、ニコチンパッチやチャンピックスというニコチンを含まない飲み薬が保険適用になりました。これらの薬を使用することにより、イライラなどのニコチン離脱症状をやわらげ、喫煙したいという気持ちをおさえることで禁煙をよりスムーズに実現することができるようになったのです。

禁煙外来の流れとしては

- ① 禁煙外来用の問診票に記入
- ② 医師による診察、アドバイス
- ③ 呼気一酸化炭素濃度測定
- ④ 処方、次回受診日の決定

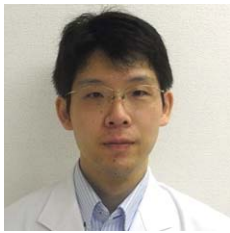
禁煙治療は10～12週(5回程度の診察)で、医療費は3割負担の方で12000～17000円です。
最後に禁煙のコツを少しだけお教えします。

あなたも禁煙に挑戦しよう！ 禁煙のコツ 10カ条

- ① やめたい理由をはっきりと！！(動機が一番肝心です)
- ② 禁煙の決意をみんなに公表しよう！(励ましてくれる味方を増やそう)
- ③ 毎日の生活をちょっとだけ変えてみよう！(通勤は早足で、部屋のカーテンを新しく)
- ④ キッパリとやめよう！！(キッパリ断煙です)
- ⑤ 吸いたくなったら気をそらそう！！(スルメや昆布もなかなかイケます)
- ⑥ 誘惑の多い場所は避けよう！(君子危うきに近寄らず)
- ⑦ 禁煙日誌をつけよう！(初心を見返し、決意を新たに)
- ⑧ 小さな目標を毎日もって(とりあえず寝るまで吸わないとか)
- ⑨ 少しでもうまかったら自分を誉めよう！(私はエライ！！自分にご褒美を)
- ⑩ 3日、一週間、1ヶ月節目節目に家族でお祝いをしよう！！

禁煙にチャレンジしようと考えている方、当院内科では禁煙外来を行っていますのでお気軽にご相談ください。

新任医師紹介

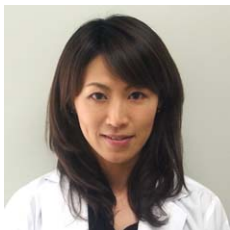


外科 山本 英喜

8月に赴任して参りました外科の山本と申します。広島大学第二外科入局後、広島大学病院および関連病院(松山赤十字病院、広島市立安佐市民病院)で外科全般の修練と、広島大学大学院で癌生物学の分野での研究に従事して参りました。

患者様の利益最優先はもちろんのこと、これまでの経験を最大限に活かして外科診療に当たらせていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本外科学会外科専門医、日本乳癌学会認定医です。



麻酔科 小村 智子

はじめまして。8月から赴任して参りました小村と申します。平成12年に愛媛大学を卒業してから5年間愛媛県内の病院で勤務した後、故郷の広島に帰ってきてJA広島総合病院、福山の大田記念病院と勤務しました。麻酔科の仕事、と聞くと真っ先に手術を受けられる患者様を薬で眠らせる医者、と思われる方が多いのではないのでしょうか？確かに薬で速やかに眠っていただきますが、実際はその後が重要な仕事なのです。

年齢、性別はもちろん体格や持病の有無など患者さま一人一人が異なります。また、どんな手術を受けられるかも人それぞれです。ですから同じ薬でも必要な量は毎回オーダーメイドです。手術の間常に患者様のそばにいて、手術の進行具合と患者様の状態を見ながら的確に安全に手術を受けられるよう調整しているのが私たちの仕事です。手術中の内科医的なお仕事といった感じでしょうか。これまでの経験を生かして、より安全で苦痛の少ない手術を受けられるように外科系の先生方、手術室スタッフと全力を尽くしていきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

ふれあい看護体験

市民の皆様が医療・看護・介護関係者と一緒これからの保健医療福祉について考えるきっかけにと、看護協会の働きかけにより「ふれあい看護体験」という取り組みが毎年行われてます。また、この取り組みは地域医療や地域連携の一貫としてしても強化されており、当院も協力病院として参加しています。

今年8月4日に高校生7名が来られ、さまざまな体験をしていただきました。今後も医療の道を志す人が少しでも増えるよう、このような取り組みに積極的に参加していきたいと思っております。



実際の体験中の様子



看護体験を終えて(高校生の感想文より抜粋)

私が初めて看護体験をして一番感じたことは、やはり看護師になりたい！という事です。これまで大学(看護学校)に何度か行ったことはあるのですが、ナース服を着て介護をしたり、聴診器を付けてお互いの脈の音を聴いたり、血圧を測ったり・・・本当にとっても楽しかったです。

また、たかの橋中央病院で働いている看護師さんがとても優しい方々ばかりで、人とのコミュニケーションを取るのが更に好きになりました。

看護師になるのが難しいと聞きます。また、数年前、医師や看護師が少なくて妊婦さんがたらい回しにされるといふ事件がありました。そのため看護師の道は狭いと聞いています。ですが、たかの橋中央病院に来て、皆さんが良い人ばかりという事と、本当に看護師の方々が優しくった事から、改めて看護師になるという夢を諦めたくないと思いました。

編集後記

今年は梅雨がなかなか明けなかったかと思えばすでに朝方は肌寒く、秋の気配も感じられますね。季節の変わり目は体調を崩しやすく、今年は新型インフルエンザも流行していますので、皆さん体調管理には気をつけてください。

リハビリテーション科 稲本